

年齢が与える適合服装色の变化

—日本と中国の比較—

1934073 宮田 にい奈

1. 研究の背景と目的

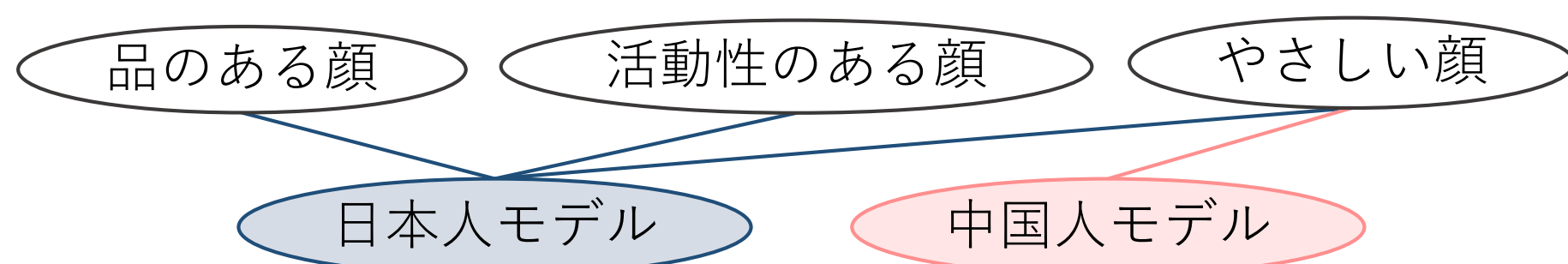
- ・国の違いによる「適合色」の認識の違いを明らかにする
- ・なぜ年齢を重ねると暗色や地味な色が似合うというイメージがあるのかを明らかにする
- ↑
- ・高齢女性の服装はマイナスなイメージに捉えられている¹⁾
- ・日本と中国は繋がりが深いにも関わらず、両国ともファッションと年齢との適合関係に関する研究は数少ない

¹⁾ 石原久代, 伊東優里 (2017) ; 女性の若年時と高齢時の適合服装色の差異, 繊維製品消費科学, 58(12), 1001-1010

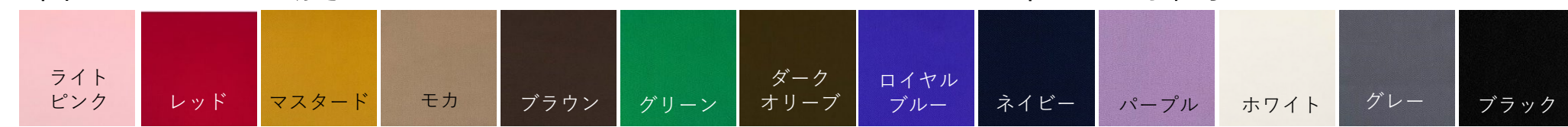
2. 方法

①試料作成

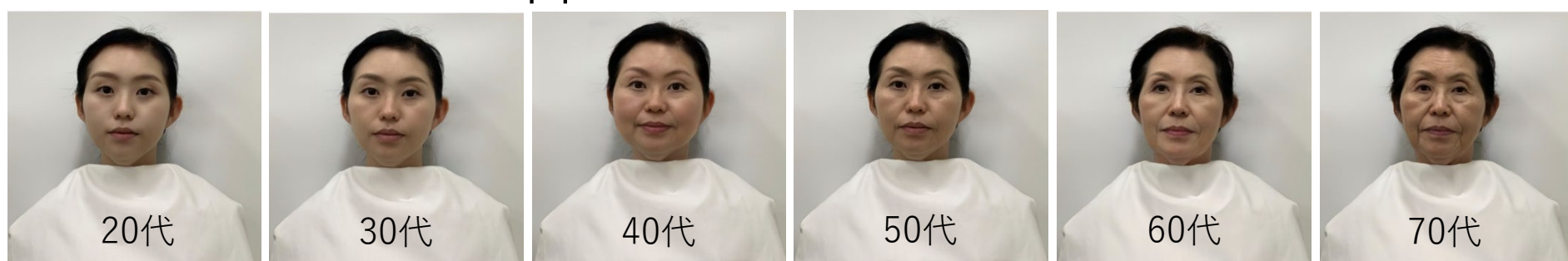
モデル：石原 (2017) の3つの顔タイプ¹⁾ を参考に計4名



↓
各モデルの胸上に13色のカラークロス当てて撮影



↓
顔加工アプリ「FaceApp」²⁾ で20～70代の6段階に顔変換



②アンケート調査

項目：「似合う—似合わない」「好き—嫌い」
回答者：日本人女子大学生53名・日本人母親30名
中国人女子大学生85名

③分析

- ・二項ロジスティック回帰分析
目的変数：似合う—似合わない
説明変数：モデルの年齢・国籍・顔タイプ、色、好み
- ・単純集計

¹⁾ 石原久代, 伊東優里 (2017) ; 女性の若年時と高齢時の適合服装色の差異, 繊維製品消費科学, 58(12), 1001-1010

²⁾ 「FaceApp: 完璧な顔加工アプリ」, FaceApp - AI Face Editor, <https://www.faceapp.com>, 2022.10.18

3. 結果

○回帰式は有意水準が0.001水準であるため有意

○P値 (有意水準0.01)
「モデルの顔年齢」以外有意であった

変数	偏回帰係数	標準誤差	標準偏回帰係数	オッズ比	Wald	自由度	P値	** : P<0.05 *** : P<0.01
回答者No.	0.0019	0.0006	0.0935	1.0019	12.0262	1	P < 0.001	**
回答者の年齢	0.0331	0.0123	0.0387	1.0337	7.2279	1	0.0072	**
回答者の国籍	0.1668	0.0564	0.0834	1.1816	8.7437	1	0.0031	**
モデルの顔タイプ	-0.1671	0.0180	-0.1182	0.8461	85.7786	1	P < 0.001	**
モデルの国籍	0.2483	0.0296	0.1075	1.2819	70.4573	1	P < 0.001	**
モデルの顔年齢	0.0116	0.0075	0.0199	1.0116	2.3764	1	0.1232	
カラー	0.0153	0.0034	0.0574	1.0155	20.0752	1	P < 0.001	**
好き—嫌い	3.8215	0.0277	1.9052	45.6709	18969.6292	1	P < 0.001	**
定数項	-2.1501	0.0940	0.1165	0.1165	523.2979	1	P < 0.001	**

○オッズ比・標準偏回帰係数
「似合う—似合わない」には「好き—嫌い」が最も影響・関係していた

○「モデルの顔年齢」と評価の関係

二項ロジスティック回帰分析の結果では有意でないとされたが、単純集計で得た各モデルの年齢評価の平均値から、

	日本人女子大学生				日本人母親				中国人女子大学生			
	A	B	C	F	A	B	C	F	A	B	C	F
20代	4.40	9.01	8.41	5.79	5.55	10.60	10.00	7.05	5.13	8.48	7.74	8.03
30代	7.16	7.01	6.96	7.07	8.69	9.26	9.52	9.69	5.80	7.12	6.59	7.50
40代	5.44	5.65	6.01	9.14	5.91	7.53	6.93	10.56	4.54	5.69	5.75	8.44
50代	4.50	5.66	4.84	4.90	5.41	6.43	4.93	6.91	4.49	5.79	5.44	5.78
60代	3.49	9.55	7.65	5.02	4.55	11.03	8.40	7.44	4.69	8.67	7.76	6.77
70代	9.31	4.18	2.25	9.29	11.30	5.16	2.58	11.13	8.27	5.48	4.06	8.67

日本人女子大学生と母親の最高値・最低値の評価が同じ

中国人女子大学生とは評価が異なる

→国籍間で顔年齢への評価が違った

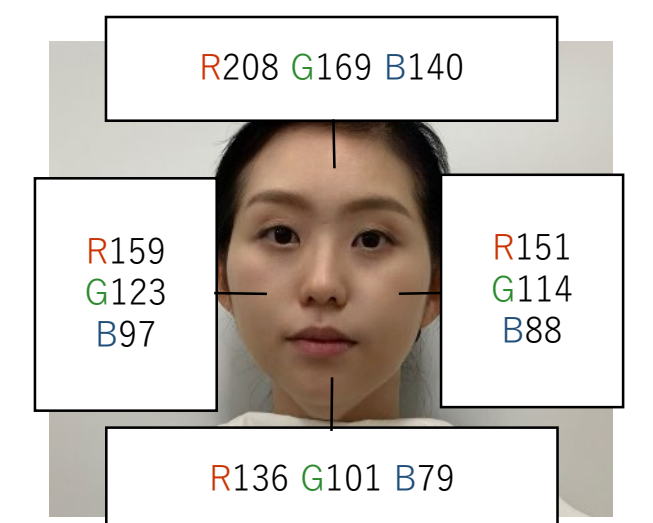
7. 結論

- ・「似合う—似合わない」には「好き—嫌い」が影響していた
- ・年齢を重ねると暗色や地味な色が似合うというイメージ→肌の色や社会の風潮が関係していた
- ・ファンデーション等で肌を明るくすることで、より「似合う」に近づくことができる可能性があった

4. 肌の色

各モデル・各年齢の肌色を比較するためRGB値を測定

→高評価：20代、30代、40代
低評価：50代、60代、70代



例：20代の肌色RGB値測定結果

肌の色が暗い場合「似合わない」と評価される傾向にあった

肌の明るさを示すL値と「似合う—似合わない」の相関係数

→日本人女子大学生・母親回答

モデルA、B (0.7以上)

=肌の明るさが評価に影響

モデルC、F (0.7以下)

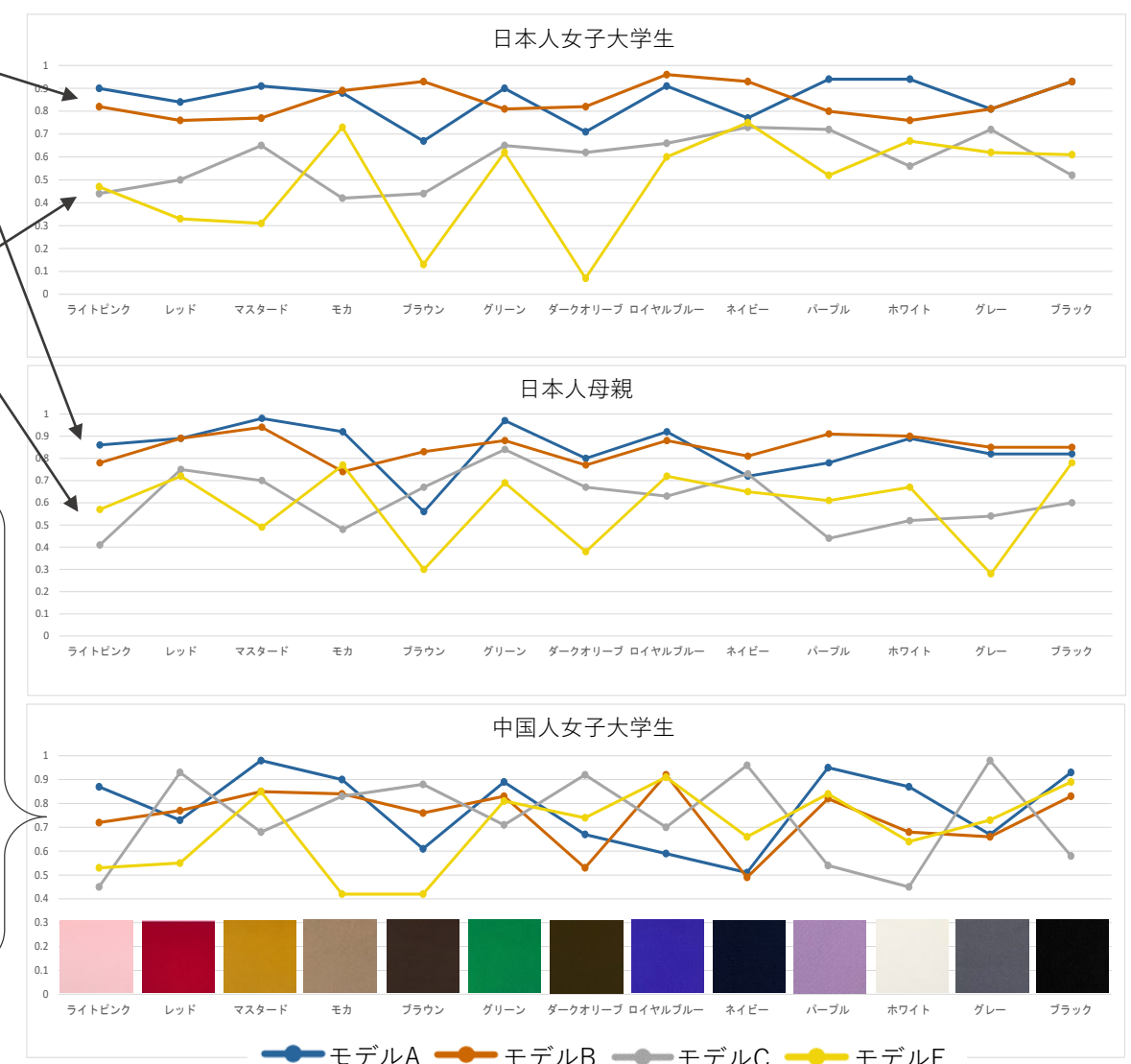
=さほど関係なし

→中国人女子大学生回答

どのモデルも肌の明暗が「似合う—似合わない」への

評価に強く影響している

とは言い切れなかった



5. 社会の風潮：エイジズム³⁾

○年齢規範 (age norm)

身につけるべき衣服や髪の長さ、性的にそうあるべきで、どんな娯楽に興じ、公的な場で踊るべきか
→年齢を重ねるにつれ、行動すべての選択範囲が狭くなる

○若者の高齢者についての知識はしばしば限定的で

ステレオタイプ化されている

○エイジズム (ageism)

年齢を理由とする高齢者に対する偏見であり、差別

↓

- ・「高齢者は地味な色の方が似合う」という主張はエイジズムなのでは？
- ・年齢規範が若者に限らず高齢者自身に浸透しているが故に、衣服選択の幅を狭くしているのでは？

³⁾ マーゴ・デメロ (2017) ; ボディ・スタディーズ性、人種、階級、エイジズム、健康/病の身体学への招待 第2巻老いゆく身体、見洋書房, 47

6. 社会の風潮：同調圧力⁴⁾

日本に限らず同調圧力は存在している

強制力のある掟がないため日本は同調圧力が生まれやすい

- ・本研究では皆の「高齢者には地味な色の服装が似合う」という同調圧力が働いた
- ・高齢者も地味な色の服装を着用して同調することで「似合わない」という不安感を紛らわしているのでは？

⁴⁾ 東洋経済ONLINE: 「日本を支配する『空気の暴走』は止められるのか」、日本を支配する『空気の暴走』は止められるのか! リーダーシップ・教養・資格・スキル | 東洋経済ONLINE | 社会をよくする経済ニュース (toyokeizai.net), <https://toyokeizai.net>, 2023.01.14